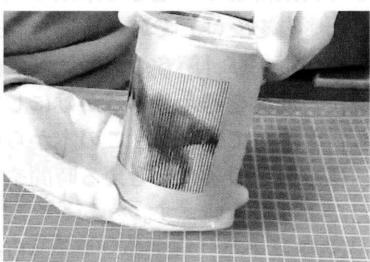


まず始めに藤田あずささんの司会で、今年度の分科会の会計報告と来年度の担当決めをしました。8月はお休み、12月は1年のまとめです。

藤田さんから担当はどなたでもできて、会場も小金井学習センターでもZoomでも自宅そばの公民館などの好きな会場でもいいということ、講師役だけ、報告を書くだけでもいいという話のあとでスムースに担当が決まりました。来年度もZoomの分科会が4回あるのでたくさんのかたの参加があるとうれしいです。

早速お待ちかねのおもしろ工作や興味のあるおもちゃ紹介です。

●野呂さん 7月の科学あそび分科会での「スリットアニメ」について、ティラノサウルスの筒型バージョンアップの紹介がありました。参加者からさかんに質問もでました。早速作ってみたかたが多いようです。プラコップの大きさについては大きい方がカーブがきつないので作るのがラク、スリットのコピーはOHPフィルムPC用やA-oneで10枚900円で買えるということや、絵はこれ以上縮小しない方が良いというアドバイスもあり、紙コップを2つ重ねると回しやすいなどの感想もありました。ポテトチップス容器やテニスボール容器を使ったらというアイデアも出ました。

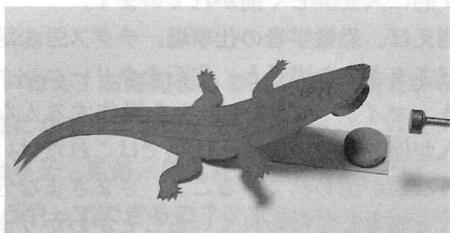


▲スリットアニメ①

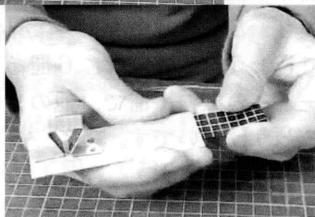
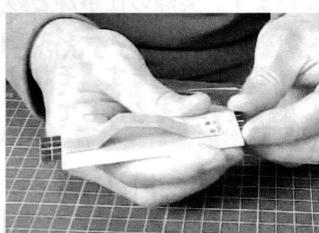


▲スリットアニメ②

もう一つ、メーリングリストや会報1・2月号で紹介された磁石のおもちゃ「パックンワニさん」では、磁石のエサを近づけるとまずワニが口を大きく開け、その後パクンと閉じる動きがおもしろいです。ネオジムについての質問もでました。また。マグネットシートをつかった「シャクトリムシくん」の紹介もありました。



▲パックンワニさん



▲シャクトリムシくん

●坂口さん 「デジタルとSDGs」というテーマの実験と展示で、何かいいものはないかというお尋ねがありました。みなさんから光ファイバーで遠くまで光が届く実験や、5本指でいくつまで数を数えられるかという2進法のやりかたのアイデアが寄せられました。

●檜枝さん 浮沈子の魚の代わりにプラスチック製試験管にナット2コつけたものを紹介してくれました。水の調整をしなくていい、水が入って様子がよく見えるので原理がわかりやすい利点があるそうです。

●原田さん 1/15の杉並サイエンスフェスタでの工作「スチレンボードのホバークラフト」の紹介がありました。持ち手を干支のウサギにする工夫で楽しさが増えます。子どもたちにも工夫をしてもらうそうです。おもりはダイソーの金魚鉢の石を四隅にはるそうです。5~6メートルは走るそうです。

●木甲斐さん 3月のテーマ「でんぶんを探してみよう」についてや、香りの科学についてのおはなしがありました。ハゼの実からつくる和ロウソクにも話題が広がりました。

●三田さん 「ビニール透明傘でクラゲを作ろう」の紹介がありました。子どもたちとビニール透明傘に内側からポスカでクラゲや海の生きものの絵を描いてみて、クラゲの生態や胃袋などを紹介したそうです。晴れた日に外で傘を広げ

るとクラゲの影が映ってきれいだったそうです。

●小川さん タンポポの綿毛になった茎の入った細口の瓶の紹介がありました。綿毛が開く前に瓶に入れるのにちょうどいいピンポイントの時期があるらしいです。私もやってみたことがあります。カビが生えてしまったので再チャレンジしたいです。

●渡部 『作ろう！フライドチキンの骨格標本』(志賀健司 著 緑書房 2022年11月発行)を紹介しました。フライドチキンを食べた残りの骨からニワトリの骨格標本を作るワザを紹介しています。著者は北海道の学芸員さんで鳥になる時にどのように骨を軽くしていったかなども書いてあります。

●瀬間さん 「スリットアニメが文庫の子どもたちに大人気です。おもしろかったです。」

●大道さん 「気楽に参加しました。」と感想がありました。

静電気の実験などの相談事もあり、あっという間の2時間でした。

分科会の後日、坂口さんが野呂さんの「パックンワニさん」を使って福島県の子どもたちと工作をZoomでした時の報告や感想が参加者メールで飛び交いました。全国で子どもたちが科学工作を楽しんでくれている様子にうれしくなりました。

